

<比較教育社会学コース卒業論文 執筆要項>

1. 注の付け方

注は本文中の該当箇所に「(1), (2), ...」あるいは「1), 2), ...」などと表記し、各章末または本文末尾にまとめて記載する。

2. 本文中における文献表記

引用を行う際には、表記も含めて誤記のないように、一言一句正確に引用する。具体的には下記のようにする。

- ①文献全体を参考にした場合には「(著者名 年)」形式。複数の文献を列挙する場合には、「, 」でつなぐ。著者名を出してから論じる場合は、「著者名 (年)」形式。訳書については訳本の年を表記する（「著者名 訳書, 年」）。具体的には下記例を参照。なお、特定のページを参照した場合にはそのページ番号を書く。

例 「…という調査結果がある（武内 1999）。」

「…この点に関しては、異論も多い（岩木 1995, 耳塚 2000）。」

「…それに対して、箕浦（1997, p.45）は～と述べている。」

「…文化的再生産の議論によれば～である（Bourdieu 訳書, 1990）。」

- ② ①において、同一著者による同一年の別文献を参考にする場合は、「a, b, ...」をつけて区別する。

例 「…という指摘がある（矢野 2001a）。」

「…これについて、矢野（2001b）は～と主張する。」

- ③文献の語句や文章を引用する場合、下記例のように該当ページを示す。

比較的短い引用の場合は、本文中に「 」で引用し、引用元を示す。

例 …こうしたことから「細かな学校ランクによる傾斜的選抜システムを日本の教育的選抜の特徴」（竹内 1995, p.96）と見ることができる…。

比較的長い引用の必要がある場合には、段落を変え、インデント（行頭を少し下げる）をして、本文と明確に区別できるようにする（イタリック体などにしてもよい）。引用の後に引用元を示す。

例 竹内は図1について、次のように説明している。

高校階層構造の上位校は中間階級の生徒が多いから、教師＝中間階級と文化葛

藤をおこさないが、下位校には労働者階級の生徒が多いから教師の中間階級文化と生徒の労働者階級文化とが摩擦をおこし、反学校下位文化が形成されやすいということになる。

(竹内 1995, pp.195-196)

なお、上記書式は文献引用のみならず、インタビュー発言記録などを長く引用する際にも同様である。

3. 参考（参照、引用）文献リストの作成方法

論文の末尾（注の後）に参考文献リストを提示する。文献は邦文・欧文を問わず、著者名のアルファベット順とし、以下の例のように表記する。なお、Web サイトの場合は、URL とアクセス日を表記する（コピーを手元に保存しておくのが望ましい）。

天野郁夫. 1996. 『日本の教育システム 構造と変動』東京大学出版会。

Beck, Ulrich, Anthony Giddens & Scott Lash. 1994. *Reflexive Modernization: Politics, Tradition and Aesthetics in the Modern Social Order*. Oxford: Polity Press.

藤田英典. 1992. 「教育社会学研究の半世紀 —戦後日本における教育環境の変容と教育社会学の展開—」『教育社会学研究』第 50 集, pp.7-29.

文部科学省. 2007a. 「平成 19 年度全国学力・学習状況調査〔小学校〕調査結果概要」
http://www.nier.go.jp/tyousakekka/lhp_tyousakekka_gaiyou_shou.htm (2010 年 8 月 1 日アクセス) .

Putnam, Robert D. 2000. *Bowling Alone: The Collapse and Revival of American Community*. New York: Simon and Schuster (=2006. 柴内康文訳『孤独なボウリング—米国コミュニティの崩壊と再生』柏書房).

上野千鶴子. 1995. 「差異の政治学」井上俊・上野千鶴子・大澤真幸・見田宗介・吉見俊哉編『ジェンダーの社会学（岩波講座現代社会学 11）』岩波書店, pp.1-26.

Weick, Karl E. 1976. “Educational Organizations as Loosely Coupled Systems,” *Administrative Science Quarterly*, Vol. 21, pp. 1-19.

※上記は以下のタイプの文献例を示している。

①天野（1996）：和書（著者名＋出版年＋『書名』＋出版社）

②Beck ほか（1994）：洋書（著者名＋出版年＋書名＋出版地:出版社）

③藤田（1992）：和文の学術雑誌論文（著者名＋出版年＋「論文名」＋『雑誌名』＋ページ）

④Weick（1976）：欧文の学術雑誌論文（著者名＋出版年＋”論文名”＋雑誌名＋ページ）

⑤Putnam（2000）：訳書（原著者名＋原著出版年＋原書名＋原書出版地:原書出版社＋（＝訳書出版年＋訳者名＋『訳書名』＋訳書出版社）

⑥上野（1995）：和文の論文集（著者名＋出版年＋「論文名」＋編者名＋『書名』＋出版社＋ページ）

⑦文部科学省（2007a）：Web サイトの資料例（著者名＋年＋「ページタイトル」＋URL＋アクセス日）

なお、参考文献リストにおいて同一の著者による文献が並ぶ時は、2つめ以降の著名を「————」(ダッシュ4つ)でつなぐ。

例：柴野昌山. 1995. …
————. 2004. …

また、同一著者の同一出版年の文献がある場合には、出版年の後に a, b, …をつけて区別する。本文中で引用の際にも、前述のように「宮台 (1999a) によれば～」、「～という研究がある (宮台 1999b)。」のように区別すること。

例：宮台真司. 1999a. …
————. 1999b. …

2010年9月10日作成